

特定基礎在職期間を有する職員に関する報告書

令和 年 月 日に退職した は、特定基礎在職期間を有し  
ており、当該期間において当 職員として在職していたものとみなした場合  
について、下記のとおりとなりますので報告します。

令和 年 月 日

長野県市町村総合事務組合管理者 様

長氏名



記

1 特定基礎在職期間

勤 務 先	就職年月日	退職年月日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日

2 退職手当の調整額に関する職員の区分

期 間	職員の区分（給料表名）
年 月 日～ 年 月 日	第 号区分（ ）
年 月 日～ 年 月 日	第 号区分（ ）
年 月 日～ 年 月 日	第 号区分（ ）
年 月 日～ 年 月 日	第 号区分（ ）
年 月 日～ 年 月 日	第 号区分（ ）

〔記入例〕

特定基礎在職期間を有する職員に関する報告書

退職日

令和\*\*年\*\*月\*\*日に退職した（職員氏名）は、特定基礎在職期間を有しており、当該期間において当（市・町・村・広域連合・組合）職員として在職していたものとみなした場合について、下記のとおりとなりますので報告します。

令和\*\*年\*\*月\*\*日 退職日以降

長野県市町村総合事務組合管理者 様

〇〇〇 長 〇 〇 〇 〇 印

記

1 特定基礎在職期間

通算する前歴を記入（本組合構成団体以外）

勤務先	就職年月日	退職年月日
△△△市	H30年4月1日	R3年3月31日
□□県	H28年4月1日	H30年3月31日

2 退職手当の調整額に関する職員の区分

期間	職員の区分（給料表名）
H30年4月1日～R3年3月31日	第8号区分（行1）
H28年4月1日～H30年3月31日	第9号区分（行1）
年月日～年月日	第号区分（）
年月日～年月日	第号区分（）
年月日～年月日	第号区分（）

『貴団体に在職していたら…』と仮定した場合の『級』を調整額区分に当てはめ記入（調整額区分…退職手当事務の概要P17参照）

※通算後、9年以下の自己都合退職者以外は、

「退職手当請求書兼退職報告書」の「調整額区分」欄に貴団体现在職期間分と合わせて記入（60月分）

【記入例】 貴団体 行1 3級 … 8号区分 18月 } 54月  
 前歴分 行1 3級 … // 36月 }  
 // 行1 2級 … 9号区分 6月  
 計 60月